



# 悠紀の里

特  
集

## 世界標準の立役者



### 目次

特集

QRコードを世界へ、中島町の柴田彰さん…… 2

市民活動団体情報

“特定非営利活動法人のぞみ”ほか …… 3

悠紀の里 情報掲示板 …… 4

### 休館日のご案内

3月 5日(月) 12日(月) 19日(月) 26日(月)

### ゆき 悠紀の里 アクセスマップ



## QRコードの立役者・中島町の柴田彰さん

スマホでピッ。瞬時に欲しい情報が手に入るQRコードは私たちの生活に深く浸透し、今やなくてはならないものになっています。今回は、その開発・普及に携わられた柴田さん(表紙写真)にお話を伺いました。

### 世界標準化への貢献

柴田さんは、QRコードをはじめとした『世界標準化』の推進に尽力され、数々の功績により昨年10月に工業標準化事業表彰で内閣総理大臣賞を受賞されました。

世界標準(スタンダード)という概念について、「例えば、日本中どこでもコンセントがすぐ使え、トイレや非常口のマークが一目でわかるのも、JIS(日本工業規格)により規格が統一(標準化)されているからだよ」と、柴田さんは解説されます。

コンセントなどは、国により形状が異なり使用できないのに対し、世界共通の規格として使用されているQRコードが、産業の分野だけでなく、いかに私たちの生活にも広く役立っているかがわかるのではないのでしょうか。



内閣総理大臣賞受賞の様子

### 昔も今もとことんやる人

授賞式への出席や、講演なども含め、訪れた国は50か国以上という柴田さん。趣味のダイビングはインストラクター歴35年、「やっぱり海はガラパゴスが最高!」と美しい海の中に思いを馳せます。小学生の頃は天体観測が好きで、なんと望遠鏡を手作り(!!)されたそう。中学時代から始めたハンドボールは、高校・大学・社会人になってからも続けたということで、好きになったことにはとことん打ち込む方だったようです。

退職後は南部学区総代会副会長などを務め、地域での約束事をルール化し書面にするなど、運営面でも尽力。学区ごとの歴史をまとめた、『岡崎まちものがたり』の編纂も中心となり、「六ツ美の良いところは歴史があり、人々のつながりが強いこと」と語られます。

### QRコード

QR(Quick Response)コードは最初、企業の生産体制の必要性から開発されました。バーコードは横方向にしか情報を持たないのに対し、QRコードは縦横に情報を持つため、数字のみで最大約7,000文字、英字で最大約4,000文字を格納できます。また、漢字など多言語のデータにも対応できるので世界各国で利用されています。



右上のQRコードからは、2月25日(日)開催の『3周年ゆきフェスタ』フェイスブックページへジャンプできます。QRコードの便利さを体感してみてください。

### これからの子どもたちへ

クリエイティブな発想はどこから生まれるのでしょうか。また、世界に羽ばたくにはどのようにしたらよいのでしょうか。最後に、未来に向けた子どもたちへのメッセージをいただきました。

「教科で言ったら数学と英語だね。論理的思考の形成には、正しい理論でやれば必ず解ける数学が役立つ。また、海外でコミュニケーションをとる上で、最低限の英語力はつけておく必要がある」といいます。国際舞台でも人間関係はとても大切。論理的思考とコミュニケーション能力を高めることが、さまざまな考えを持つ人たちと関係を築いていくうえで大切なようです。

現在は、自動認識のコンサルタントとして忙しい毎日を送っている柴田さん。「ここまでこられたのは負けず嫌いだっただのが大きいかな」と振り返ります。これからも六ツ美の地から、第2・第3の柴田さんを目指す子どもたちがたくさん現れたら素晴らしいですね。難しいことも分かりやすく、終始穏やかな口調でお話くださった柴田さん、ありがとうございました。

